

旧甲州街道を歩く パート⑪ 笹子から甲斐大和へ

開催日：2023年11月23日（木・祝） 晴 健脚LV1 2万5000歩 16km

集合：JR中央本線笹子駅 10時

コース：笹子駅（標高599m）→笠懸地蔵→黒野田一里塚跡→新田地区→旧甲州街道遊歩道→矢立の杉→
笹子峠（標高1096m）→甲州市入り→甘酒茶屋跡→笹子沢川沿いの旧道→清水橋→
駒飼宿本陣跡→中央自動車道高架下→国道20号→諏訪神社→甲斐大和駅

参加者：平山（L） 奥村（SL） 畠（SL） 勅使河原 五十嵐志 五十嵐し 平石 熊坂 高橋文 河野
清水 栗田 市村 山田 三田 田村 16人

前回パート⑩は4月29日、大月駅から七宿（大月、下花咲、上花咲、下初狩、中初狩、白野、阿弥陀街道）を巡り、笹子駅まで歩きました。パート⑪は、笹子駅から笹子峠を越えて甲斐大和駅までのコースです。

小春日和の旧甲州街道、矢立の杉をめざす遊歩道では紅葉も見ることができました。大月出身の友人に「矢立の杉はぜひ見て来て」と言われましたが、樹齢1000年を超える存在感に圧倒されました。江戸から歩いて来て甲州街道最初の難関小仏越え、そして最大の難関が標高1096mの笹子峠越え、みなさん健脚で見事に踏破しました。甘酒茶跡からの笹子沢川沿いの旧道、倒木などで荒れ放題のアドベンチャーコースを楽しむこともできました。確かに健脚LV1のコースです。駒飼宿跡の長閑な風景も印象に残りました。



笹子峠

笹子設備訓練センター 阿弥陀街道宿跡 笹子駅(標高599m) 10時～笠懸地蔵

笹子駅は、1903年(明治36年)2月1日に国鉄中央本線の駅として開業。隣りの初狩駅からの距離6・5kmで標高を142m上げて599m。昭和41年の複線化まではスイッチバックの駅でした。当時のホームと線路が残っており、笹子設備訓練センターとして利用しています。駅前広場には阿弥陀街道宿の標識があり、紅葉している木もありました。熊坂さんのリードでストレッチ、平山リーダーがコース説明をして10時にスタート。甲州街道(国道20号)のゆるやか坂道を上って行き、黒野田宿本陣跡の近くにある笠懸地蔵へ。天明天保の大飢饉それに続く農民一揆などによる窮乏を、この地蔵に心願したものだそうです。



黒野田橋～黒野田一里塚跡～屋影橋～新田地区～左折 矢立の杉をめざす

笠懸地蔵から少し進み、笹子川に架かる黒野田橋を渡ります。道路反対側の普明禅院門柱の脇に黒野田一里塚跡があり、「江戸日本橋より二十五里」と書かれた石柱が見えます。道路左手にススキ原を見て西へ、甲州街道（国道20号）をこのまま5kmほど直進すれば「道の駅甲斐大和」です。再び笹子川へ、屋影橋を渡ります。「東京から108km」の標識、この辺りが新田地区のようで、笹子駅にポスターが張られていた「笹子追分人形」の郷土芸能が伝わっています。「笹子峠矢立の杉、360m先左折」の看板が出てきました。国道を真っすぐ進むと新笹子トンネル、標識はなぜか笹子トンネル。左折して矢立の杉をめざします。



旧甲州街道矢立の杉の案内板～遊歩道～鮮やかな紅葉～木漏れ日差す上り道

国道と分かれて「旧甲州街道矢立の杉」の標識のところを右に曲り遊歩道へ入りました。土の感触が足に優しく、落葉を踏むカサカサと心地よい音を聞きながら上って行きます。30分ほど上ると県道212号が見えて来て、急峻な坂道を上りきると「笹子峠の自然遊歩道」の案内板があり、県道を右に進めば1.7kmで矢立の杉のようです。私たちは直進して、道標が示す旧甲州街道を上ります。少し上ると疲れが吹き飛ばすような鮮やかな紅葉を見ることができました。上って下って、木洩れ日が差すゆるやかな上り道、平山リーダーを先頭に矢立の杉をめざします。もう少しのはずですが・・・



小春日和 木道～11時53分 樹齢1000年を越す巨木「矢立の杉」

陽があたるところは小春日和の陽気、上着を脱いで歩いている人もいます。沢に架かる木道を渡り、杉が林立する道を上って行き11時53分に山梨県指定天然記念物「矢立の杉」に到着しました。説明板に「昔の武者が出陣にあたって、矢をこの杉にうちたてて武運を祈ったところから矢立の杉と呼ばれてきた」と書かれていました。武田軍も北条攻めのときにここを通ったのでしょうか。目通り幹回り9m、樹高26.5m、樹幹中は空洞、樹齢1000年を越す巨木です。いにしへのロマン感じる巨木の前で記念写真撮影。



昼食タイム 県道12時40分～旧街道と合流～13時15分 笹子隧道

矢立の杉から少し上がったところに広場があり、歌手で俳優の杉良太郎さんが作詩作曲して自ら歌う「矢立の杉」の歌碑が建っています。ベンチに座り昼食をとりました。ここからの旧街道は通行止めがあるようで県道を歩くことに。少し上って県道からの「矢立の杉」入口へ、近くにトイレがありました。トイレを済ませて12時40分にスタートです。風が少し冷たくなってきました。ときおり紅葉も楽しめるゆるやかな坂道を上って行きます。「甲州街道」の木の標識が出てきました。旧街道を上って来ていたらここで県道に合流します。13時15分、昭和13年3月に完成して現在は登録有形文化財の笹子隧道に到着しました。



旧甲州街道一番の難所笹子峠(標高1096m)踏破～下って甲州市へ

旧甲州街道一番の難所といわれた笹子峠を前にして、笹子隧道を抜けるか笹子峠を越えるか「思案峠」。みなさん一致して峠を越えることに。確かに難所だけあってかなり急峻な上りです。九十九折りの上り道を何回も右に左に折れて高度を上げて行きます。途中、笹子雁ヶ原腹摺山(ささごがんがはらすりやま)分岐、そこから少し上って笹子峠へ続々と上って来ます。峠だけあって風の通り道になっていて冷たい風が吹き抜けていきます。標高599mの笹子駅から497mを上って標高1096mの笹子峠踏破、記念の集合写真を撮りました。ここからは落葉を踏みしめての下り、笹子隧道の反対側に出て甲州市に入りました。



甘酒茶屋跡～笹子沢川沿いの旧道～アドベンチャーコース～清水橋

笹子隧道から少し進んだところに案内図があり、ここから駒飼宿までは北の方向への歩みになります。県道を下って行くと甘酒茶屋跡へ出ました。いにしへの旅人もここまで下りて来てホッと一息、団子や甘酒を楽しんだことでしょう。さてここから清水橋まで県道を歩くか、旧道を歩くか相談、畠サブリーダーを先頭に旧道を歩くことになりました。笹子沢川沿いのこの道、流されてきた倒木や石がゴロゴロの荒れ放題、沢渡り、道をさがしながらのアドベンチャーコースを楽しめることができみなさんに好評でした。14時36分、県道と合流する清水橋に出てお菓子の差し入れなどもあり小休憩をとりました。



清水橋～天狗橋～日影上バス停～江戸より三十宿三十里九丁の駒飼宿

進行方向の山の西側斜面には陽が当たっていますが、県道歩行ルートは日陰で大分肌寒くなってきました。30分ほど下って水分補給の小休憩、そこから少し下ると前方に集落が見えてきました。九十九折りの道を下りていくと笹子沢川に架かる天狗橋へ出ました。「JR大和甲斐駅・国道20号線」の標識、ようやくゴールが見えてきました。甲州市民バス山梨交通「日影上」のバス停を通過、塩山駅行きのバスが出ています。集落へ下りていくと「駒飼宿脇本陣跡」「駒飼宿本陣跡」の標柱が出てきました。駒飼宿は、「江戸より三十宿、江戸へ三十里九丁、甲府へ五里十九丁、本陣一、脇本陣一、旅籠六」と記されています。



中央自動車道高架下～国道 20 号～諏訪神社～16 時 10 分甲斐大和駅

昔の旅籠だったのか庭に松の枝が張り出した旧家、寿司屋の趣きがある旧家前を通り、中央自動車道の高架下へ差し掛かります。国道 20 号の大和橋西詰交差点に出て東へ進み、甲斐大和駅への上り道に入り諏訪神社に到着。熊坂さんのリードでクールダウン。少し上って 16 時 10 分、夕闇迫る甲斐大和駅へ到着しました。歩数 2 万 5 0 0 0 歩、距離 16 km の健脚 L V 1 コースでした。上り列車まで時間があるので、有志で駅前の「雅」へ入り生ビールで乾杯。女将さんと甲州街道の話に花が咲きました。



笹子というと思い浮かぶのが笹子峠と笹子トンネル事故。笹子駅を出て 30 分ほどで笹子トンネル入り口が見えました。事故は 2012 年 12 月 2 日、中央自動車道上り線笹子トンネルで天井板のコンクリート板が落下して走行中の車 3 台が下敷きとなり 9 名が死亡しました。遺族は真相究明を求めています。「二度と起こしてはいけない事故」、そんなことを思い起こした甲州路でもありました。 (いちむら記)